

京・東山を歩く

これまで京都に行っても、東山界隈に足を伸ばすことはほとんどなかった。京都駅のバスターミナルに行ったが、乗り場が混雑していたので、とにかく東山に向かって歩くことにした。五条通から五条坂、そして清水坂から清水寺へと足早に向かった。



清水寺界隈はとにかく人が多かった。団体さんとともに、外国人観光客が目についた。あらためて「観光都市」京都を実感するような光景であった。堂々たる清水の舞台から京の町が一望できた。よく見えた京都タワーと駅ビルを複雑な気持ちで写真を撮った。やはり京の景観にはそぐわない建物だ。

込み合う清水寺をあとにして、産寧坂から八坂の塔のほうに下りていった。八坂の塔は地域のランドマークになっているだけあり、風格と味わいがある。町家も多く、なかなか風情があり気に入った。この一帯は坂が多くて歩くのはしんどいが、美しい街並みを眺めながら歩いていると、なんだか落ち着きと安らぎを感じることができた。さすが歴史と伝統の京・東山だけある。また訪ねてみたい。



(2006年5月7日 記)